

- ・造林事業 7,142万円
  - ・置戸町民有林振興事業 1,452万円
- 商工関係では、街路灯のLED化を継続するため、市街地区154灯分の635万円を計上しました。新規事業として、空き店舗改装および既存の店舗改装事業に720万円計上し、過疎化による商店街の空洞化を防ぐとともに、商工業の活性化を図ります。また、地域ブランドであるオケクラフトの一層の販売促進を図るため、一般社団法人おけと森林文化振興協会の設立に伴い協会に対する出えん金として、2,500万円を計上しました。勝山温泉ゆうゆは、オープンから20年を経過し、施設の老朽化が著しいことから、大規模改修に向けて平成27年度は基本設計委託として500万円を計上しました。
- ・置戸町街路灯設置事業 635万円
  - ・置戸町美しい商店街奨励事業 100万円
  - ・置戸町未来の起業事業 620万円
  - ・おけと森林文化振興協会出えん金 2,500万円
  - ・交流促進センター大規模改修工事基本設計委託 500万円

置戸町美しい商店街奨励事業



土木関係では、全国的に、道路、橋梁、トンネルなどの劣化による事故が発生し、早急な対応が求められていることから、町道の現状を把握するための調査経費として330万円を計上しました。また、橋梁の老朽化対策のため平成24年度に長寿命化修繕計画を策定しましたが、この計画に基づき橋梁の予防的な修繕を行うために1億1,600万円を計上しました。また、その事前点検として橋梁点検委託料1,200万円を計上しました。

- ・町道路面性状調査委託事業 330万円
- ・橋梁長寿命化修繕事業 1億1,600万円
- ・橋梁点検委託事業 1,200万円

学校教育関係では、学習指導要領に基づく児童生徒の学力向上を目指し、引き続き義務教育教材の整備や、地域との連携による教育力の向上に努めます。置戸高校への支援については、少子化などの影響により受験希望者数が厳しい状況にあることから、通学生に対する各種支援や福祉科のP

R活動を継続して行うため1,650万円を計上しました。

- ・置戸高校への支援事業 1,650万円

社会教育関係では、第10次社会教育5ヶ年計画に基づき、活力ある地域づくりを進めることを目標に、引き続き社会教育の振興を図ります。

スポーツ振興では、小学校低学年を対象に、総合的な運動基礎能力の向上を目指し「わんぱくクラブ」を実施していますが、活動内容が好評なことから、引き続き関係経費（20万円）を計上しました。また、体育施設関係では、平成26年度からの継続事業として置戸水泳プール改修工事2,960万円を計上しました。

- ・置戸水泳プール改修工事 2,960万円

図書館では、開町100周年記念事業に合わせて編集作業を進めてきた「置戸100年の歴史」発刊のため700万円を計上しました。

- ・置戸100年の歴史と証言集発刊事業 700万円

森林工芸館では、一般社団法人おけと森林文化振興協会に対して販売業務の委託を行うことから、1,000万円を計上しました。どま工房関係では、秋岡コレクションの継続的な活用事業に加え、コレクションを核とした手仕事文化の情報発信に努めます。

- ・オケクラフト等販売業務委託料 1,000万円



オケクラフトの販売業務を  
おけと森林文化振興協会に委託

平成27年度は開町100周年を迎え、基本テーマに「ともに学び・考え ともに喜び・祝い ともに歩み・創る」を掲げ、記念式典や町民構成劇、野外コンサートなどの記念事業、各種協賛事業に総額9,805万円を計上しました。

- ・開町100周年記念事業・協賛事業 9,805万円

簡易水道特別会計では、簡易水道再編推進事業が4年目を迎え、6億8,150万円を計上しました。下水道特別会計では、境野浄化センターの改築工事として8,559万円を計上しました。

- ・簡易水道統合事業 6億8,150万円
- ・境野浄化センター改築工事 8,559万円